

沼田町化石館年報

Annual report of Numata Fossil Museum

第19号

Volume 19

平成31・令和元(2019)年度

The year of 2019

2020年3月印刷

Published in 2020 Mar.

目次

1. 沼田町化石館の概要	p 2
1-1. 沿革	p 2
1-2. 設置目的	p 5
1-3. 利用案内	p 5
1-4. 施設内容	p 6
2. 事業	p 8
2-1. 展示	p 8
(1) 常設展	p 8
(2) 企画展	p 8
(3) 特別展	p 9
2-2. 教育普及	p 9
(1) 化石採取会	p 9
(2) ジュニア化石クラブ	p 10
(3) 職場体験	p 10
(4) 体験メニュー	p 11
(5) 講演	p 12
(6) 出展	p 13
(7) 社会教育活動	p 13
2-3. 広報出版活動	p 13
2-4. 研究	p 14
2-5. 資料管理	p 14
3. 管理運営	p 15
3-1. 化石体験館利用状況	p 15
3-2. 組織と職員	p 15

1. 沼田町化石館の概要

1-1. 沿革

1985 年	2004 年
9 月 沼田歯鯨会設立.	4 月 篠原暁学芸員再任.
1988 年	7 月 特別展「世界で一つのヌマタネズミイルカの謎」を開催. (7/24～8/29)
5 月 沼田歯鯨会を沼田化石研究会に改称.	8 月 山下茂先生追悼企画展「水溜まりの宝物」を開催. (8/23～31)
1992 年	10 月 企画展「アンモナイトの魅力」開催 (10/30～11/19)
4 月 沼田町自然史研究室を開設. 古澤仁学芸員着任.	2005 年
1998 年	4 月 沼田化石研究会が発展的に解散.
4 月 古澤仁学芸員が離任し篠原暁学芸員着任.	5 月 企画展「恐竜探検に行こう」を開催.
1999 年	7 月 特別展「沼田にクジラがいた頃」を開催.
12 月 自然史研究室を取り壊しのため閉鎖. 旧社会福祉センターを沼田町化石館として移転.	10 月 企画展「新聞に見る沼田の化石研究 25 年の歩み」を開催. (10/1～14)
2000 年	2006 年
4 月 沼田町化石館オープン	5 月 特別展「タカハシホタテと仲間たち」を開催. (5/3～8/31)
6 月 企画展「春の山野草写真展」を開催. (6/26～8/4)	11 月 企画展「みんなで恐竜を作ったよ」を開催. (11/20～12/1)
8 月 特別展「植物のたどってきた道」を開催. (8/8～9/3)	2007 年
11 月 ヌマタネズミイルカ発見 15 周年を記念し原標本を初公開. (11/20～12/9)	5 月 特別展「イルカとクジラはどう違うの？」を開催. (5/3～8/31)
2001 年	9 月 ジュニア化石クラブが日本地質学会年会(札幌)で活動を発表
4 月 篠原学芸員が離任し山下茂指導員着任.	10 月 企画展「沼田町のタカハシホタテ」を開催. (10/6～12)
7 月 特別展「沼田の海を泳いだクジラたち」を開催. (7/30～8/31)	2008 年
10 月 企画展「沼田産タカハシホタテの謎」を開催. (10/1～31)	2 月 臨時職員の谷口真弓氏が離任.
2002 年	3 月 臨時職員として臼井寛子氏が着任. (3/31 まで)
7 月 特別展「世界の学説を変えたヌマタセイウチ」を開催. (7/22～8/31)	4 月 臨時職員として河原幸子氏が着任.
9 月 ミニ展示として沼田のモササウルス原標本を初公開. (9/9～10/30)	5 月 企画展「宮沢賢治と地質学」を生涯学習総合センターで開催. (5/10～25)
12 月 ミニ展示として町内産の化石を生涯学習総合センターに展示. (12/24～1/31)	6 月 沼田町化石館展示室が終了. 化石体験館臨時職員として長岡亜矢子氏を採用.
2003 年	
8 月 山下指導員が病気により他界.	

7 月	幌新温泉隣接の旧陶芸館跡に沼田町化石体験館がオープン. (7/19)	2013 年	3 月	化石体験館臨時職員の長岡亜矢子氏が離任.
2009 年			4 月	化石体験館臨時職員として鶴野聡美氏が着任.
4 月	冬季閉館中だった化石体験館再開.		5 月	春の企画展「美しきハ虫類」を開催. (4/29～7/15)
5 月	春の企画展「沼田化石ヒストリー」を開催.		7 月	特別展「追え!謎の生物デスモスチルス」を開催. (7/27～9/1)
7 月	1 周年記念行事として徳川広和氏の講演会を実施. (7/19) 特別展「白亜紀の怪物クビナガリュウ」を開催.	2014 年	5 月	春の企画展「次々発見!イカの先祖たち」を開催. (4/29～7/21)
10 月	秋の企画展「紙の動物園」を開催.		7 月	特別展「僕たちだって沼田っ子」を開催
2010 年			8 月	沼田町開拓 120 年記念事業. 北大博物館准教授の小林快次博士が講演.
4 月	化石体験館臨時職員として菅原瑞枝氏を追加採用.		9 月	レプリカ工房臨時職員の辻優子氏, 河原幸子氏が離任.
5 月	沼田町古生物復元模型完成披露&徳川広和恐竜模型展開催. (5/1～5/31)		12 月	レプリカ工房臨時職員に高山陽子氏と沼田祐輔氏が着任.
7 月	特別展「沼田の海を泳いだクジラたち」を開催. (7/17～8/29) 沼田レプリカ工房作品展「動物頭骨大集合」開催.	2015 年	4 月	田中嘉寛学芸員が着任. 企画展「沼田は太古の水族館」を開催.
8 月	化石体験館個人有料入館者数 5,000 人達成. (8/2)		5 月	化石体験館個人有料入館者数 15,000 人達成. (5/2)
2011 年			7 月	特別展「ヌマタネズミイルカ」を開催.
3 月	レプリカ工房臨時職員の小坂恵子氏が離任.		12 月	レプリカ工房臨時職員の沼田祐輔氏が離任.
4 月	レプリカ工房臨時職員として春山祐子氏が着任.	2016 年	4 月	吾子博明氏が着任. 企画展「復元の科学」を開催.
5 月	春の企画展「デスモスチルスと仲間たち」を開催. (5/1～7/18)		7 月	特別展「沼田を泳いでいた小さなクジラ」展を開催.
7 月	特別展「これがモササウルスだ!」を開催. (7/23～8/28)		3 月	吾子博明氏が離任. 田中嘉寛学芸員が離任.
2012 年		2017 年	4 月	松井佳祐学芸員が着任. 田中嘉寛氏が特別学芸員に着任. レプリカ工房臨時職員に長谷川文子氏が着任.
2 月	レプリカ工房臨時職員の春山祐子氏が離任.			
4 月	レプリカ工房臨時職員として谷口真弓氏が着任.			
5 月	春の企画展「不思議な生物フジツボ」を開催. (5/3～7/16)			
7 月	特別展「北の人魚～その悲劇の始まり」を開催. (7/28～9/2)			

企画展「タカハシホタテが暮らしていた」を開催.

5 月 化石体験館個人有料入館者数 20, 000
人達成. (5/5)

6 月 中島礼博士・田中嘉寛博士の講演.

7 月 特別展「アンモナイトとイルカ〜清水
守氏コレクション〜」を開催.
西村智弘博士の講演会.

8 月 谷口真弓氏が離任.

2018 年

4 月 レプリカ工房臨時職員に井上絵理氏が
着任.

企画展「小さなクジラハーペットケタス
の仲間」を開催.

8 月 特別展「時をながれる川〜沼田町 1 億
年物語り〜」を開催.

9 月 「沼田町化石体験館開館 10 周年記念
イベント vol.1 恐竜復元教室」を開催.

10 月 「沼田町化石体験館開館 10 周年記念
イベント vol.2 化石博士集合」を開催.
ヌマタネズミイルカが北海道の天然
記念物に指定される.

2019 年

1 月 新属新種の化石ヌマタナガスクジラ
が発表される.

4 月 化石体験館臨時職員に吉田佳奈美氏
が着任.

企画展「ヌマタナガスクジラデビュ
ー!」を開催.

5 月 ヌマタネズミイルカ北海道天然記念物
指定記念講演会を開催.

7 月 特別展「ヌマタカイギュウ」を開催.

8 月 化石体験館個人有料入館者数 30, 000
人達成. (8/13)

9 月 化石体験館臨時職員に鵜野育雄氏が着
任.

1-2. 設置目的

目的 1. 沼田町の財産である化石を、町民にわかりやすく展示・普及すること.

目的 2. 貴重な化石を地元で研究し、その成果を世界に向けて発信すること.

目的 3. 学校や社会での要求が高まりつつある体験学習の場を提供し、その活動を支援すること.

目的 4. 町内外の化石愛好者が交流を行う場を提供するとともに、その活動（友の会）の拠点となること.

1-3. 利用案内

沼田町化石館の施設は、レプリカ工房（市街地）と化石体験館（幌新）に分かれている.

（1）レプリカ工房

旧化石館は現在もレプリカ工房と研究室の機能を残している. レプリカ工房では大型脊椎動物の復元骨格や化石を母岩から掘り出すクリーニング作業を行っている.

【休館日】 土曜日、日曜日、祝日

【時 間】 10:00～16:00

【電 話】 0164-35-1034

【住 所】 〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南 1 条 2 丁目 7-49

（2）化石体験館

ほろしん温泉周辺のほたるの里に位置する. 館内では沼田町から発見された脊椎動物化石の復元骨格を展示し、化石に関する様々な教育プログラムを行うことができる.

【休館日】 月曜日（月曜日が祝日なら開館）、祝日の翌日、冬季（11/4～4/28）

【時 間】 9:30～17:00

【料 金】 個 人： 一般 500 円 / 小中高校 300 円
団 体： 一般 400 円 / 小中高校 200 円
年間パスポート： 一般 800 円 / 小中高校 400 円

町民および小学校入学前の幼児は無料

【体 験】 2-2. 教育普及（3）体験メニューを参照.

【電 話】 0164-35-1029

【住 所】 〒078-2225 北海道雨竜郡沼田町字幌新 381-1

1-4. 施設内容

(1) 沼田町化石館化石レプリカ工房 (旧沼田町化石館)

【所 轄】沼田町教育委員会

【所 在 地】北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7番49号

【構 造】木造2階建て

【延べ面積】322.29m²

階	室 名	面 積	機 能
1階	レプリカ工房	59.49m ²	展示用のレプリカを製作
	クリーニング室	13.22m ²	ダイヤモンドカッター、エアスクライバによる岩石切削
	化学作業室	14.87m ²	酸による化学的クリーニングなどを行う
	資料整理室	13.22m ²	レプリカ母型の一時保管場所
	収蔵庫	24.55m ²	貝や散在骨化石を収蔵. 重要標本は金庫で保管
2階	収蔵作業室	105.76m ²	大きなレプリカ母型やレプリカを収蔵
	館長室および研究室	19.30m ² +10.90m ²	博物館業務およびインターネットによる情報発信

【平面図】 《2階》



《1階》



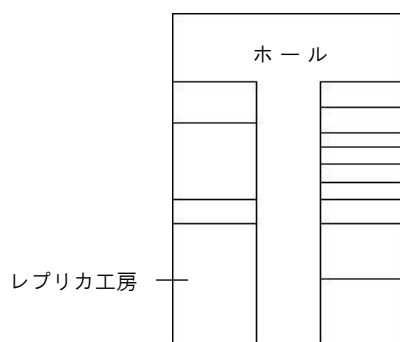
※2019年9月よりレプリカ工房の一部機能を沼田町民会館の一室へ移動し、レプリカ作成及びクリーニング作業を行っている。

【所 轄】沼田町教育委員会

【所 在 地】北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目179-1 (沼田町民会館内)

【構 造】鉄筋コンクリート

【面 積】72m²



(2) 沼田町化石体験館 (旧陶芸館)

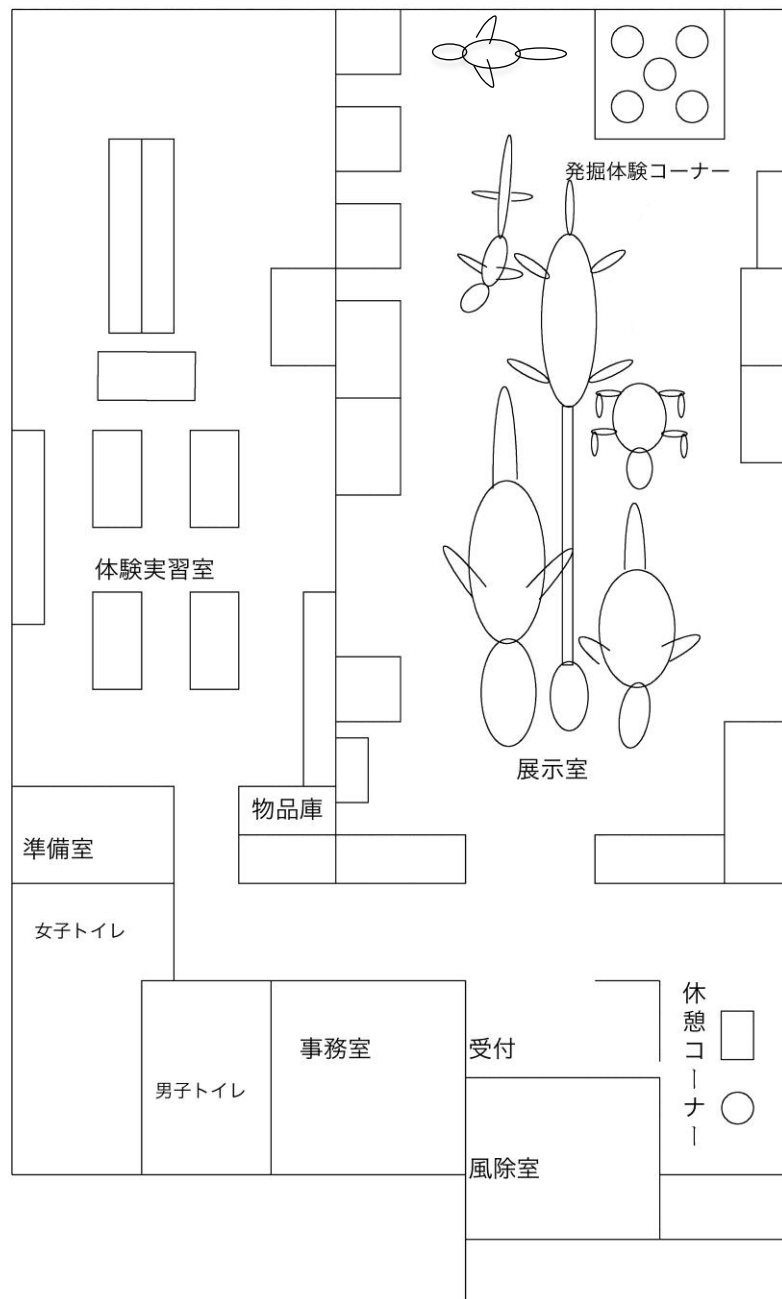
【所 轄】沼田町教育委員会

【所 在 地】北海道雨竜郡沼田町幌新 381 番地の 1

【構 造】鉄骨造平屋建て

【延べ面積】333.6m²

【平 面 図】



*体験実習は 40 名まで可能

*男子トイレは車椅子対応

*休憩スペースのみ飲食可能

2. 事業

2-1. 展示

(1) 常設展 沼田町産出化石を中心に展示

■ヌマタナガスクジラ、ヌマタカイギュウ、デスモスチルス、モササウルス、クビナガリュウ、アンモナイト、貝化石、植物化石、生痕化石、古生物生体復元模型を展示している。

■ヌマタナガスクジラのコーナーをアップデート。

■ヌマタネズミイルカの実物化石を特別公開（4/29～5/19）



ヌマタネズミイルカ実物化石標本

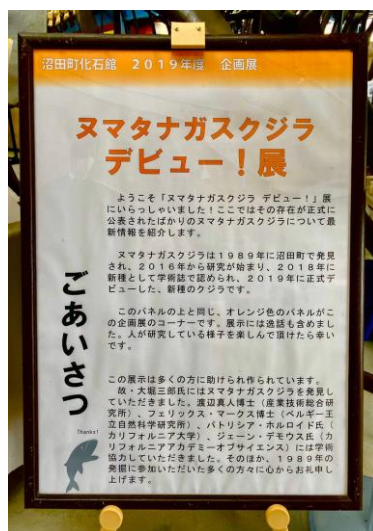
(2) 企画展

■「ヌマタナガスクジラデビュー！」展

【会期】4月29日（月・祝）～11月3日（日・祝）

【会場】化石体験館 展示室

【内容】2019年1月に新属新種と判明した「ヌマタナガスクジラ」について紹介。



展示の様子

(3) 特別展

■「ヌマタカイギュウ」展

【会期】7月13日(土)～9月1日(日)

【会場】ほろしん温泉ほたる館ロビー

【内容】ヌマタカイギュウ紹介展示.



ほたる館ロビーでの展示の様子

2-2. 教育普及

自然科学や化石に触れあうことを目的とした普及行事を児童生徒から大人まで対象に実施している。

(1) 化石採取会

幌新太刀別川でタカハシホタテなどの化石を1つ採取する。

- ・第1回 【期日】6月 8日(土) 【参加者】22名
 - ・第2回 【期日】6月16日(日) 【参加者】44名
 - ・第3回 【期日】6月22日(土) 【参加者】46名
 - ・第4回 【期日】6月30日(日) 【参加者】36名
 - ・第5回 【期日】7月20日(土) 【参加者】49名
 - ・第6回 【期日】7月28日(日) 【参加者】雨により中止
 - ・第7回 【期日】8月 3日(土) 【参加者】42名
- 計 239 名



化石採取会の様子

(2) ジュニア化石クラブ

子どもたち自らが、関心を持ってより深く学ぶことによって新たな気づきや興味を引き起こすことを目的に実施。本年度は「かわらの石を調べよう」として開催。全4回で、川原の石について学習し、採取や、薄片作りなどを行った。

- ・第1回 【期日】6月29日(土) 「かわらに石を探しに行こう」
- ・第2回 【期日】7月27日(土) 「かわらの石を調べよう」
- ・第3回 【期日】9月14日(土) 「ストーンキャンプに参加」
- ・第4回 【期日】10月5日(土) 「石の見本をつくろう」



川原を調査する様子



ストーンキャンプの様子

(3) 職場体験

普段体験する事ができない博物館での裏方の仕事、学芸員とスタッフが日ごろ行っている作業を通して実際に体験し、学ぶことを目的とする。

【期 日】10月3日

【場 所】化石体験館

【内 容】接客、ミニ発掘づくり、野外地質調査の体験。



職場体験の様子

(4) 体験メニュー

●化石模擬発掘 別料金, 600円.

室内の専用発掘コーナーで本物のタカハシホタテ化石を発掘する. 採取した化石はクリーニングをして持ち帰ることができる. 小・中・高校生限定1日5組まで.

●レプリカ製作

石こうによるレプリカ作りの実習で, 団体の場合は予約が必要. 一般来館者は随時受講可能.

【種類】タカハシホタテかアンモナイトのどちらかを選択

●ミニ発掘 <化石・原石・磨き石>

化石, 原石, 磨き石をレア度1~3段階に分け, 人造ノジュールに埋め込んだもの.

●ハイグレード発掘 別料金, 600円.

通常のミニ発掘よりも質の高い化石などを人造ノジュールに埋め込んだもの.

●ウルトラグレード発掘 別料金, 1000円.

複数の化石, クリスタルを一つの大型人造ノジュールに埋め込んだもの.

●月別体験メニュー

通常の体験メニューに加えて, 月替わりでミニメニューを提供.

【内容】5月: サメの歯ストラップ, 6月: 天然木のキーホルダー, 7月: エコ・化石マグネット, 9月: プラバンでピンバッジ, 10月: 恐竜入りバスボム作り.

(5) 講演

●オープニングトーク

【期 日】4月29日(月・祝)

【場 所】化石体験館 ロビー

【講 師】木村方一 名誉館長

【内 容】沼田町の化石研究の歴史について。



木村方一 名誉館長



講演会の様子

●ヌマタネズミイルカ北海道天然記念物指定記念講演会

「沼田の至宝を解説する～どこがすごいの？ヌマタネズミイルカ～」

【期 日】5月18日(土)

【場 所】ほろしん温泉ほたる館

【講 師】一島啓人博士(福井県立恐竜博物館)

【解 説】木村方一 名誉館長

【内 容】平成30年10月に北海道天然記念物に指定されたヌマタネズミイルカを、研究・発表した一島博士に、その希少性、学術的価値について講演していただき、昼食後は化石体験館に会場を移し、木村名誉館長による特別展示解説、一島博士によるヌマタネズミイルカ実物標本を前にした解説が行われた。



一島啓人博士



解説の様子

(6) 出展

①「環境広場さっぽろ 2019」

【期 日】2019 年 8 月 12～13 日

【場 所】札幌ドーム

【内 容】ミニ発掘



環境広場さっぽろ 2019 での様子

②「町民交流フェスタ」

【期 日】2019 年 11 月 10 日

【場 所】沼田町生涯学習総合センターゆめっくる

【内 容】ミニ発掘



町民交流フェスタでの様子

(7) 社会教育活動

①「沼田町産化石の紹介・沼田町産化石の発掘体験」

【期 日】2019 年 6 月 11 日

【場 所】上富良野中学校

【内 容】招待講演・有孔虫探し

②「全国水道事業団協議会北海道地区協議会調査研究 講演『時をながれる川』」

【期 日】2019 年 10 月 17 日

【場 所】ほろしん温泉ほたる館

【内 容】招待講演

2-3. 広報出版活動

●広報誌『沼田町化石館だより』を年間 5 回発行。体裁は A4 版両面モノクロ印刷で、毎回 1400 部印刷し、町内の全世帯に配布。

○107 号 2019 年 5 月発行 「沼田の至宝を解説する～どこがすごいのか?ヌマタネズミイルカ～」

○108 号 2019 年 6 月発行 「特別展ヌマタカイギュウ」

○109 号 2019 年 7 月発行 「大好評化石採取会」

○110 号 2019 年 8 月発行 「環境広場さっぽろ 2019 出展」

○111 号 2019 年 10 月発行 「文化の秋! 沼田の文化財」

●ホームページ、フェイスブックでの広報活動。適宜更新し、最新のお知らせやイベント情報などを掲載。

ホームページ「numata-kaseki.sakura.ne.jp」

フェイスブック「<http://ja-jp.facebook.com/nfmuseum>」

2-4. 研究

＜これまでの流れ＞

この5年ほどで、ヌマタネズミイルカ（詳細は16号参照）とヒゲクジラの研究が大幅に進み学術的な報告を行なってきた（詳細は前号参照）。

＜プロジェクトの進捗と成果＞

これまで「プロトミンククジラ」と呼ばれていた雨竜川から見つかったクジラ化石の研究が終わり、新属新種として、学名を *Miobalaenopteranumataensis*, 和名をヌマタナガスクジラ（和名は木村名誉館長による）とした。これはナガスクジラ科の新種である。ヌマタナガスクジラの研究が正式に学術誌に掲載された(p1,)。この話題については2019年の化石体験館での企画展で紹介した。また、北海道文化財保護協会の文化情報375号で紹介し、前年度末ではあるが、2019年3月号の町の広報ぬまたで紹介された。北海道新聞、テレビなどで取り上げられた。

＜今後＞

当館には野外から収集され、クリーニングが終わっていない標本が存在する。これまで道文化財に指定されたヌマタネズミイルカの第一から第三標本や、太平洋で最北端の記録となったかなり小さい種類のヒゲクジラの化石、2種類のカイギュウがいたこと、この度の新属新種になったヌマタナガスクジラは1980年代から行っているクリーニングによって研究できる状態にまで持ってこられたものである。研究が進み、話題が創出され、外部へ発信され、展示が更新されることは喜ばしい。新たな発見の可能性を秘めた化石は、母岩に包まれたままで、レプリカ工房にあり、世に出ていくことを待っている。

研究論文 publication

(p1) Tanaka, Y. and Watanabe, M., 2019: An early and new member of the Balaenopteridae from the upper Miocene of Hokkaido, Japan. *Journal of Systematic Palaeontology*

2-5. 資料管理

プレパレーション

松原クジラのクリーニングを継続。新しいプレパレーターへの技術の継承を念頭に行なっている。

レプリカ作成

既存のヌマタネズミイルカを修正の後、最新の見解をもとにした新たなネズミイルカのレプリカを作成。

3. 管理運営

3-1. 化石体験館利用状況

		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	年間合計
利用者数		1,462 人	604 人	1,837 人	2,533 人	661 人	804 人	7,901 人
前年同月		870 人	726 人	1,766 人	1,906 人	530 人	662 人	6,460 人
無料利用者	幼 児	12	2	7	34	10	26	91
	学 生	34	9	36	48	24	51	202
	一 般	134	72	110	124	66	127	633
	小 計	180	83	153	206	100	204	926
優待利用者	幼 児(0)	2	0	0	2	1	0	5
	学 生(150)	0	0	0	0	1	0	1
	一 般(300)	7	5	5	10	31	30	88
	小 計	9	5	5	12	33	30	94
通常利用者	幼 児(0)	118	19	72	102	33	27	371
	学 生(300)	251	41	121	271	83	32	799
	一 般(500)	500	137	297	549	211	134	1,828
	小 計	869	197	490	922	327	193	2,998
団体利用者	幼 児(0)	60	18	82	161	25	29	375
	学 生(200)	124	145	542	536	62	110	1,519
	一 般(400)	220	156	565	696	114	238	1,989
	小 計	404	319	1,189	1,393	201	377	3,883

※4 月利用分は 5 月に、11 月利用分は 10 月にそれぞれ含まれる。

3-2. 組織と職員

【令和元年度職員構成】（令和 2 年 3 月 31 日現在）

名 誉 館 長 木村 方一 （北海道教育大学名誉教授）

館 長 三浦 剛 （教育委員会教育課長）

主 幹 森田 康弘 （教育委員会主幹）

学 芸 員 松井 佳祐 （教育委員会主事）

特別学芸員 田中 嘉寛 （大阪市立自然史博物館）

教育委員会事務局兼務

主 幹 高橋 征一

社会教育主事 富田 匠

社会教育主事 和田 章人

化石レプリカ工房

臨 時 職 員 高山 陽子

臨 時 職 員 長谷川 文子

臨 時 職 員 井上 絵理

化石体験館

臨 時 職 員 菅原 瑞枝

臨 時 職 員 鵜野 聡美

臨 時 職 員 吉田 佳奈美

臨 時 職 員 鵜野 育雄

沼田町化石館年報

第19号

発行日 2020年3月31日

発行者 沼田町化石館

執筆・編集 松井佳祐・田中嘉寛

〒078-2202

北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目6番5号

沼田町生涯学習総合センター(沼田町教育委員会)

電話 0164-35-2132 Fax 0164-35-1210

Mail: kaseki@guitar.ocn.ne.jp

※本誌は沼田町化石館のホームページから pdf としてダウンロードできます